

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 4 月 14 日

事業名称		会計事務費〔金融機関検査事務〕									
予算科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	5	会計管理費	事業番号	1
事業の種別		☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの									
担当部署・課長名		会計 課 出納 係				課長名		當摩 弘			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		行 ー 2	
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現								総合計画書 (ページ)		122	
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 指定金融機関、収納代理金融機関、下水道事業出納取扱金融機関及び下水道事業収納取扱金融機関（以下、「金融機関等」とする。）の取りまとめ店					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 検査を実施すべき金融機関等の数					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。〔簡潔に〕 市内・市外も含めた金融機関等の取りまとめ店の金融機関の数					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 検査を実施した金融機関等の数					
	③ そのために何をしましたか。 適正な公金の収納手続が行われているかについて検査を行う。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） 検査を実施した金融機関等のうち、適正な公金収納手続が行われていた金融機関等の数					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標		令和4年度目標		
	対象指標	①の数値	箇所	18	18	17					
	成果指標	②の数値	箇所	8.0	8.0	8.0					
	目 標	②の目標値									
目標値設定の考え方（課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。）											
3 経費	活動指標		③の数値	箇所	8	8	8				
	事業費（実績）		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 （退職手当組合負担金、共済費も含む。）				
	財源	一般財源	円								
		特定財源	円								
	(うち受益者負担)		円								
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1					
		所要人数(再任用)	人								
職員人件費(再任用以外)		円	824,400	831,000	838,000						
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	824,400	831,000	838,000						
4 課題	今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ※廃止したものを除く 地方自治法施行令及び会計事務規則の規定に基づき、金融機関等の収納手続について検査を行っている。										
5 今後の方向性	仕事の方向性（「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ※廃止したものを除く 市内に取りまとめ店にない金融機関等に対して、同様の検査が実施できるのか検討する。										